



2023年度 始まります

帝京大学小学校 校長 石井卓之

47名の1年生を迎え、2023年度が始まりました。今年度は、コロナに細心の注意を払いながらも、帝京大学小学校の止まっていた学校行事をリニューアルしながら再開していきます。また、学ぶ意欲の向上、個性の伸長、問題解決能力の育成などを図るために新たな取り組みも進めていきます。2022年度の3月号の学校だよりでもお知らせしましたが、年度が変わりましたので再度お知らせします。

○1年生から4年生の外部施設を活用した水泳指導(多摩センターにあるアクアブルーで、長い距離を目指して)

○3・4年生の縦割りセカンドスクール(多摩市の八ヶ岳の施設を貸し切って、2泊3日で自然体験を中心に)

○キャリア教育の拡大

- ・東京都労働局の企業家支援プログラムを活用した授業を実施(4年生)
- ・ブックオフと連携して校内でブックオフを開店(5年生)
- ・企業と連携した起業家育成授業の実施、バリ島と連携してフェアトレード・SDGsを学習(6年生)

○里山プロジェクトを進め、教科横断型のSTEAM教育の授業の実施(1~6年生)

○1年生からインプットした英語を実際にアウトプットして学びを深める授業の実施

- ・TGG多摩(東京グローバルゲートウェイ)での体験授業(4年生、6年生)
- ・帝京大学の留学生を招いた英語で学校案内(5年生)
- ・オーストラリアのパースの小学校との英語で国際交流(6年生)

大学でデータサイエンスを学ぶ重要性が高まる中、小学校でのプログラミング教育も多様化し、スクラッチやマインクラフトなどのソフトが使用されています。本校ではレゴを活用したプログラミング思考の育成とエンジニアリングにつながるキットで学びを深めています。また、6年生は今年度も、ゲームソフトのぷよぷよに使われているジャバコードを使い、セガの方やeスポーツのプロの方にプログラミングとキャリア教育の両面から授業を行っていきます。

帝京大学グループの教育理念である「自分流」にある「結果に責任をもつ」ことは、自分勝手ではなく、粘り強さや責任感が求められます。本校では今年度も、学ぶ意欲を高めながら、個性(自分らしさ)を発揮して「なりたい自分を目指す」ことを大切にした教育活動を進めていきます。ホームページに掲載される学校経営計画にある取り組みへのご協力をよろしくお願いいたします。